

従業員向け

放課後等デイサービス評価表

実施日：2025年12月

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫していると思う点	課題や改善が必要な点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%			・学習スペースを予め決めて教材を配置してスペースの確保が来ている	・定員がMAXの日で支援が必要な児童の割合が多い時狭く感じる時がある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	66.7%	33.3%		・スタッフが少ない日は適宜職員数を増やす等の配慮がなされている	・スタッフの数があと1人でも多いと更に子どもとの関わりができるのではと思う日がある ・月に数日、職員が足りていないと思うことがあります ・日によって適切でないと感じる日もある ・日によって多い少ないがある ・人数は適切であることが多いが能力バランスが気になることがある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	88.9%	11.1%		・畳スペースがある事で子供達は遊びの内容に応じての対応を上手に出来ている ・オープンスペースなので全体の様子を把握しやすい面はある。その分、スタッフが少なくであっても全体の様子を捉えながら子どもと接することが大切	・障害の特性に寄り添った構造にはなっていないことが支援につながっていると感じる
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%			・掃除が細やかな部分まで実施される様に習慣的（毎日の様に）行われている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	88.9%	11.1%		・半分区切られた机、椅子スペースが有効に使用されている ・児童によりクールダウンが必要な時など事務室を活用する等、共通理解ができています	
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	88.9%	11.1%			

業 務 改 善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者にアンケートを取り集計して全体ミーティングで話し合うことで改善しやすい ・こちらから設けた機会以外にも、適時保護者等から頂いた意向が共有され、反映されている ・定期的に保護者との面談が行われている 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%				
	9	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や所内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%				
	10	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	88.9%	11.1%			
	11	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	100.0%				
	12	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	88.9%	11.1%			
	13	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	77.8%	11.1%	11.1%	・全体ミーティングで検討されている	
	14	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	77.8%	22.2%			
	15	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	77.8%	11.1%	11.1%		・本人支援に対して、更に具体的な支援内容があれば評価もしやすく次の目標設定に繋げることができる

適切な支援の提供	16	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	88.9%		11.1%	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なイベントがあり良いと思う ・特に休日の活動は、季節を感じられるものやその時期限定のイベントへの参加も含まれ常に目新しく多様である ・お出掛の行事が多く実施されている（多様化されている） 	
	17	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	88.9%		11.1%		
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	88.9%	11.1%		<ul style="list-style-type: none"> ・計画的ではないが臨機応変な対応である（毎日の打ち合わせはある） ・支援開始前の職員打ち合わせ（13時～）は定着している。またそこに事務担当が参加することはチームとしてもよいと思う 	
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	22.2%	66.7%	11.1%	<ul style="list-style-type: none"> ・全員ではできていないが各々で共有はしている ・“必ず”設けられている訳ではないが共有しようという空気は支援後にタイミングを限らずにある ・記録や翌日の打ち合わせ会で共有している ・送迎に出ていると振り返りができない日もあるが後日や送迎後に行えている 	・必ずではない
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	77.8%	11.1%	11.1%	<ul style="list-style-type: none"> ・“記録”が最重要には置かれておらずそこが履き違えのないより良い支援に繋がっている面もあると思う ・毎日行われている 	
	21	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	77.8%	11.1%	11.1%		
	22	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	100.0%				
	23	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100.0%			<ul style="list-style-type: none"> ・自己決定できる利用者については、できているのではと思う 	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	66.7%	11.1%	22.2%		

関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	66.7%		33.3%		
	26	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100.0%			・密に行われこどもの状況を把握出来ている	
	27	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	66.7%	11.1%	22.2%		
	28	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	22.2%	44.4%	33.4%	・まだその時期が来たことがない	
	29	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	33.3%	11.1%	55.6%		・参加することによってプラスになる面があれば参加することも検討する
	30	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	11.1%	88.9%			・マンション内のお子様にSilkyのイベントを告知し参加を募り交流の場を設ける検討をする（新年度計画に組み込む）
	31	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		55.5%	44.5%		・有益な情報が得られたり参加する意義があれば参加を検討する
	32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%			・色々なスタッフが送迎に出ているのでそれぞれのスタッフと話すことができ日々の様子や課題を共有できていると思う ・毎日の様子を文と写真でスマホで保護者に伝えている	
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	55.5%	22.2%	22.3%		
	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%			・年に何回かの保護者面談や随時行われている	
	35	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%				

保護者への説明等	36	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	88.9%		11.1%		
	37	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	88.9%		11.1%		
	38	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	88.9%		11.1%		
	39	定期的に通信等を発行することや、HP等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.0%				
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	88.9%		11.1%		
	41	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	88.9%		11.1%		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%				
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%				
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	88.9%		11.1%		
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	77.8%		22.2%		
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	88.9%		11.1%		
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	77.8%	11.1%	11.1%		
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%			・積極的に行われている	
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	77.8%		22.2%	・年間の職員研修計画の中に位置付けられている	

	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	44.4%	44.4%	11.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・その時々に応じての対応である ・必要に応じて書類の作成をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・個支計には記載していない
--	----	--	-------	-------	-------	--	---